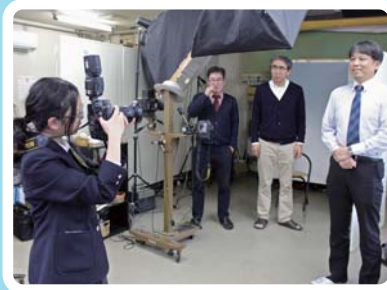
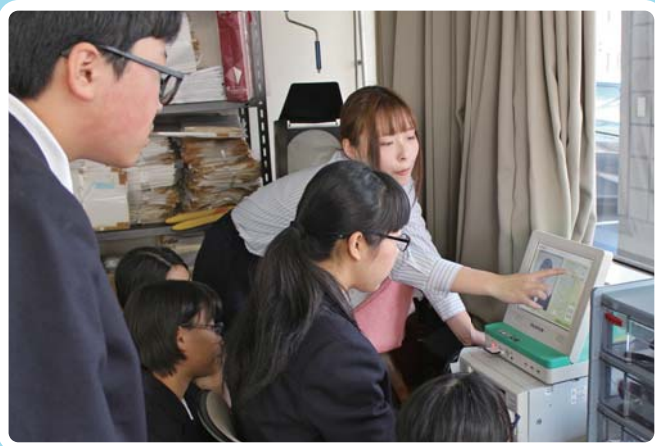


幌東中学校

11月29日



私たちが普段、修学旅行などの写真でお世話になっている札幌映像社におじゃましました。いつもは撮られる立場ですが、この日は撮る側になってカメラを操作し、自分たちが撮った写真でアルバムを作る体験をさせてもらいました。良いものをつくるためにはどんなことに気をつけるべきかを学びました。



写真撮影の難しさと、ものづくりの楽しさを学んだ一日

東札幌にある(有)札幌映像社は、白石区内にある小中学校のイベント撮影や学校アルバムの作成を行っている会社です。社長の谷崎英一さんはこの道40年以上のベテランで、生徒たちが通う幌東中学校の校長(2017年11月現在)が同中学校に通っていたころに、撮影したこともあるそうです。この日は2年生5人がスタジオに行き、撮影の基本やアルバム作成に取り組みました。

まずは谷崎社長からのレクチャーに聞き入る生徒たち。「撮影現場では、シャッターチャンスを逃すと撮りなおしがきかない。一度失敗す

ると信用を回復するのはなかなか難しい」といった撮影の厳しさについて真剣に聞き入っていました。レクチャーの後はスタジオのカメラとセットを使い、お互いを撮影。光の調整やピント、柔らかい表情を引き出すためのコミュニケーション法など、良い写真を撮るためのさまざまな準備や工夫を学びました。また、スタジオの外に出てさまざまな被写体を選んでの撮影も体験しました。

撮影後は選んだ写真をプリントし、アルバム作りを体験。撮影からアルバム編集まで、ものづくりの楽しさを体験した一日でした。

南郷小学校

11月21日

私たちはこの日一日、しろいし幼稚園にやってきました。最初はどのようにしてよいか分かりませんでしたが、一緒に遊んだり、給食を食べているうちにだんだんと楽しくなりました。子どもたちがなかなか言うことを聞かなかったりして幼稚園の先生は大変ですが、とてもやりがいのある仕事だと思いました。



幼稚園での手伝いを通じ、一歩大人に近づいた日

平和通1丁目にある学校法人新善光寺学園「しろいし幼稚園」。「子どもたちの自主性を育む保育」を教育方針に、白石区から約230人の園児たちを受け入れています。この日は、南郷小学校の5年生8人が訪れました。

まずは幼稚園の先生に一日の流れを説明してもらい、お仕事開始。登園して来た園児たちと一緒に雪が積もった広場に出て、雪遊びの相手をしました。先生より年齢が近いお兄さん、お姉さんたちの訪問に、園児たちも最初は少し照れた様子。しかしソリをひっぱってもらったり、雪の中で一緒にサッカーをすると、すぐに仲良くなり、広場は歓声で

いっぱいになりました。

外での遊びのあとは、それぞれの部屋にわかれお歌やお遊戯の時間。5年生たちは小さかったころを思い出すように、園児たちの楽しい様子を見守りながら一緒に遊戯や歌に興じました。その後はランチタイムとなり、給食の運搬や園児たちの準備を手伝い、一緒にお昼ご飯を食べました。

午後2時から徐々にお迎えも来て、楽しい一日もお別れの時間に。帰路に着く園児たちとハイタッチをして見送りました。小さな子どもの世話を通じて、また一歩大人に近づいた5年生たちでした。